



太田川を利用している小学校が、森林整備を通して環境を学ぶ！

=== 太田川流域振興交流会議「学校自然体験事業」について



- ～写真左から～
- ・高南小：見勢井顧問にノコギリの手入れを学ぶ
 - ・志和小：森の役割を説明する吉村さん
 - ・山田小：木工クラフト

太田川の水を利用する流域市町が連携し、流域内での振興や交流活動、水質保全活動、自然環境保全活動、普及活動などの事業展開を図ることを目的に太田川流域振興交流会議が平成 10 年に設立されました。その中で流域の小学校を対象に、当初は「太田川流域学校間交流事業」現在は「太田川流域学校自然体験活動」と名称変更されて関係する団体等が計画する事業を行っています。

当倶楽部は開始時から関わっており、上流域と下流域の2か所の学校の子供たちが参

加して森林整備を通じて学校間の交流をしながら環境教育を行ってきました。最近では上流域の学校の閉校等の理由により、学校間の交流事業はなく1校だけの受け入れ状態になりました。

令和7年度は倶楽部が管理する「スクウスクウの森」で志和小学校4年24名、高南小学校4年12名、「安芸高田市向原町の保垣地区」で向原小学校5年生17名、「広島森林公園」で山田小学校3年24名を指導。参加人数に応じて指導員を派遣しています。

1日の活動の流れは「人と森

との関わりや川の流れについて」「ノコなどの道具の使い方」「森の手入れ」「整備で出た材を使用して木工クラフト」「1日の振り返り」です。

毎年、前年度に倶楽部として複数の森林保全のメニューを事務局となる広島市環境局環境政策課へ提出し、事務局は全体の計画書を年度内に関係個所の小学校へ提示し、実施したい学校から応募が有ると最終的な日程調整を行い実施となります。多くの手続きを経て、環境教育につなげています。 **報告：山本理事長**



先輩アドバイスを受け指導デビュー！： 升本さん(左) 高田さん(右)